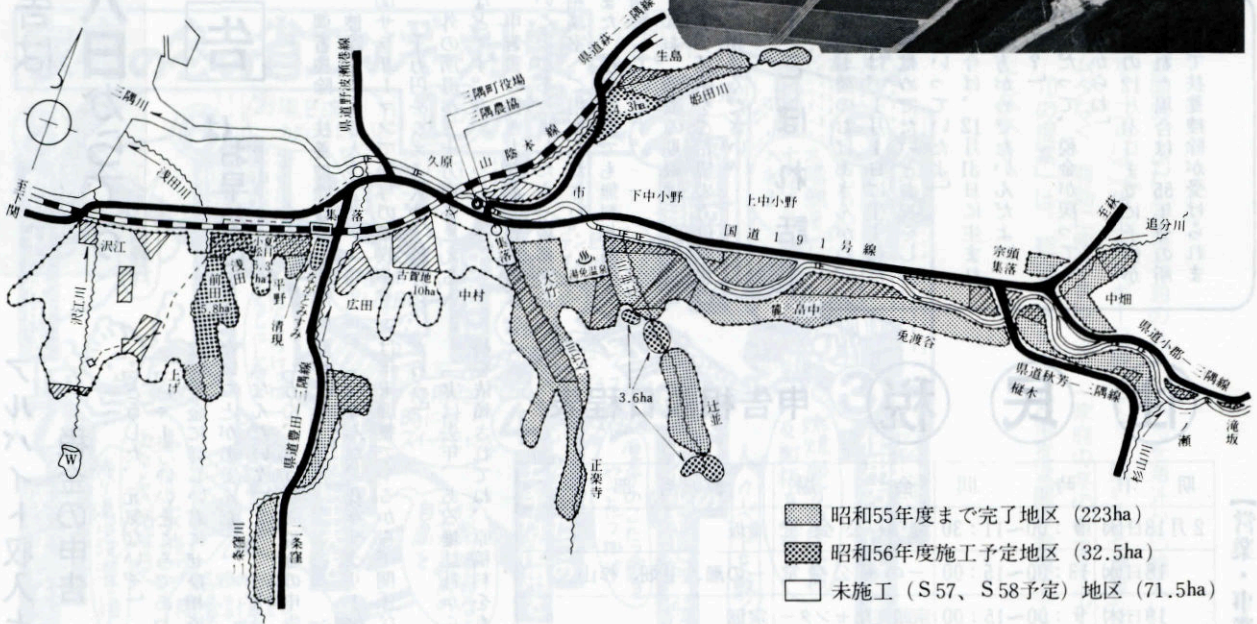


# 昭和56年度 県営圃場整備事業の施行計画



昭和五十五年度着工の本事業も、昭和五十五年度を含めて、三二七haのうち、二二三haの面工事を完了する事になり、約七〇%の進捗率に達しております。

なかでも未施行一〇四ha(三十三%)の地区の農家の皆さんには長年面工事を、お待たせ致しておりますと同時に、施工済圃場の不都合箇所を持たれる農家の皆さんには、補完工事をお待たせしておりますが、まず、面工事に全力を注ぎ、その後不都合箇所を補完してゆく事業方針でありますので御了承下さるようお願いいたします。

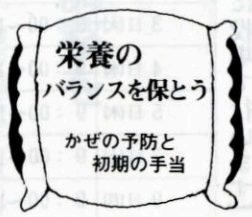
さて、昭和五十六年度の面工事業施行計画につきましては、昭和五十五年度の予算の伸び悩みと、他の公共事業とのかね合いの中に、全体施工計画面積三二・五haとして計画しております。(別図参照)

その内訳は、生島工区の四・三ha、辻並・下中小野工区の三・六ha、豊原(古賀地)工区一〇ha、豊原(清現)工区二・五ha、浅田・平野(小松・夏目)工区六・三ha、浅田(前田)工区五・八ha、となっております。

施工時期は国の方針からして、いづれも通年施工(六月～八月着工)として計画しております。

今後、昭和五十八年度まで面工事が続く予定ですが、水田利用再編対策との関連からすべて通年施工対応となりますので、営農計画に配慮の上ご協力下さるようお願い致します。

最後に昭和五十六年度施工予定地区の農家の皆さんに計画樹立から面工事完了まで特段の御協力を賜りますようお願い申し上げます。



かぜを引きやすい季節です。かぜにかからないようにするには、ふだんから体に抵抗力をつけておくことが大切で、そのためには、適度な運動で体力を維持するとともに、乾布まさつや薄着の習慣をつけて皮膚を丈夫にし、体温の保持することが大切です。

また、規則正しい生活を保ち、過労にならないよう注意しましょう。

同時に、かぜに対する抵抗力をつける上で忘れてはならないのは、栄養のバランスで、冬季にはとくに食事の献立に気を配りたいものです。

**とくにビタミンCを**  
 かりからいたための栄養補給

寒くなると、体内の熱がうばわれますので、タンパク質や脂肪の多い食品をとって体温の保持を心がけ、同時にビタミン、ミネラルの補給も忘れず、バランスのよい食事をとるようにしましょう。

とくに、ビタミンA、B群、Cなどは病気に対する抵抗力を高める働きがあります。なかでも加熱や調理に弱いビタミンCが不足しないよう気をつけてください。